

AsReader連携システム

電子カルテ

HOPE PocketChart

富士通Japan株式会社

電子カルテ

e-カルテ

株式会社ソフトウェア・サービス

電子カルテ

MegaOak

らくらく看護師さん

日本電気株式会社

NTT DATA
Trusted Global Innovator

MD-TraC

株式会社NTTデータ

misnon

株式会社メディナビ

AsReader®

導入事例ダイジェスト <医療>

AsReaderは、各種医療システム(電子カルテ、SPDプラットフォーム、調剤支援システム等)と連携して、ヒヤリハットの削減、作業効率の改善に大きく寄与します。



導入病院・医療機関一覧



あさぎり病院	兵庫県	近畿中央病院	兵庫県	信州大学医学部附属病院	長野県
池田病院	鹿児島県	熊本整形外科病院	熊本県	新庄徳洲会病院	山形県
出雲徳洲会病院	島根県	金光病院	岡山県	吹田徳洲会病院	大阪府
医誠会病院	大阪府	公立学校共済組合 中国中央病院	広島県	生活協同組合ヘルスコープおおさか	大阪府
タムス市川リハビリテーション病院	千葉県	高知県立あき総合病院	高知県	セコムディック病院	千葉県
浦添総合病院	沖縄県	高知大学医学部附属病院	高知県	瀬谷ふたつ橋病院	神奈川県
NTT東日本関東病院	東京都	高良台リハビリテーション病院	福岡県	大生病院	埼玉県
大垣徳洲会病院	岐阜県	国立病院機構 あきた病院	秋田県	高野病院	熊本県
大阪市立大学医学部附属病院	大阪府	国立病院機構 沖縄病院	沖縄県	タムス浦安病院	千葉県
大阪警察病院	大阪府	国立病院機構 高崎総合医療センター	群馬県	天理よろづ相談所病院	奈良県
沖縄リハビリテーションセンター病院	沖縄県	国立病院機構 東徳島医療センター	徳島県	東京共済病院	東京都
落合病院	岡山県	国立病院機構 水戸医療センター	茨城県	東京西徳洲会病院	東京都
小原病院	東京都	神戸市立医療センター中央市民病院	兵庫県	徳島県立中央病院	徳島県
香川労災病院	香川県	国家公務員共済組合連合会 共済病院	広島県	鳥取県立中央病院	鳥取県
鹿児島園田眼科形成外科	鹿児島県	坂出市立病院	香川県	鳥取大学医学部附属病院	鳥取県
鹿児島徳洲会病院	鹿児島県	相模原協同病院	神奈川県	豊見城中央病院	沖縄県
刈谷豊田総合病院	愛知県	佐田病院	福岡県	富山病院	富山県
川口市立医療センター	埼玉県	札幌漢仁会リハビリテーション病院	北海道	長野赤十字病院	長野県
川南病院	宮崎県	札幌徳洲会病院	北海道	長野中央病院	長野県
菊川市立総合病院	静岡県	札幌東徳洲会病院	北海道	名古屋医療センター	愛知県
岸和田徳洲会病院	大阪府	佐藤第一病院	大分県	名古屋徳洲会総合病院	愛知県
北出病院	和歌山県	三条病院	新潟県	成田富里徳洲会病院	千葉県
北広島病院	広島県	山北徳洲会病院	新潟県	西宮市立中央病院	兵庫県
吉祥寺南病院	東京都	庄内余目病院	山形県	野崎徳洲会病院	大阪府
岐阜県立多治見病院	岐阜県	湘南慶育病院	神奈川県	榛原総合病院	静岡県
京都南病院	京都府	白根徳洲会病院	山梨県	東大阪徳洲会病院	大阪府
近畿大学病院	大阪府	市立湖西病院	静岡県	日立総合病院	茨城県

他、全160病院以上で導入(五十音順 敬称略) (2021.7.1 現在)



● Apple, Apple のロゴ, iPhone, iPod touchは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
 ※iPhoneの商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。 ※IOS商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。
 ● その他、各社の会社名、システム名、製品名などは、一般に各社の登録商標または商標です。
 当社サイト内・印刷物に記載されている社名、製品名、サービス名及びサイト名には、必ずしも商標表示「®」「(TM)」を付記していません。



株式会社アスタリスク

大阪 本社: 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-6-16 新大阪大日ビル 201 Tel:050-5536-1185
 東京 事業所: 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-35-7 水天宮HSビル 2F Tel:050-5830-5393
 名古屋 営業所: 〒460-0003 名古屋市中区錦1-5-11 名古屋伊藤忠ビル 6F Tel:050-5536-8731
<https://www.asx.co.jp> <https://asreader.jp>

医療法人 警和会 大阪警察病院

<http://www.oph.gr.jp/>



三点認証、バイタルサイン自動取得、フローシートIN/OUT入力、医療機器登録、写真 etc.

AsReader®導入で看護業務効率化とインシデント削減を実現。



課題

- 電子カルテの入ったパソコンをワゴンに載せてベッドサイドへ赴き、バーコードリーダーで三点認証するシステムであったが、病室や通路の狭さも相まって、使いにくさや夜間の騒音が問題になっていた。
- 上記を踏まえて、以前からモバイルを活用したいという願望は持っていたが、読み取り精度やレスポンス面で期待に応えるハンディターミナルに出会えなかった。

ソリューション

- パソコンを持たずにAsReaderひとつで病室へ。狭い相部屋でもスムーズに三点認証。手の向きを気にせず患者リストバンドの二次元コードを読み取り。
- 三点認証対象は、採血管、注射、輸血。
- NFCとバーコード一体のコンボタイプなので、患者認証に引き続いて体温や血圧、SpO₂などのバイタルサインを機器からNFCを使って読み取り、電子カルテへ自動転送。
- 輸液ポンプ、シリンジポンプ、人工呼吸器、生体モニターの使用状況を患者と紐付けて電子カルテへ転送。

効果

- 有線バーコードリーダーが届かないので病室での患者認証できない、といった事象がなくなり、三点認証の実施率がほぼ100%に!
- ワゴンを押して病室に入っていくことができなくなり、夜間の騒音を気にせず点滴交換が可能に。
- バイタルサインの自動取得・転送で誤入力を防止。

三重大学医学部附属病院

<https://www.hosp.mie-u.ac.jp/>



日本初! RFID導入で看護業務を劇的に効率化!



課題

- PDAでは注射と輸血の3点照合は可能だったが、検体の照合が不可能だった。iPod touchは検体の照合も出来たが、読み取り精度が悪く、結果として検体の照合がされず検体取り違えのインシデントが発生した。
- 数が限られていたPDAは巡回時には取り合い状態になり、しかも大きくて重いため、液晶パネルの破損等も多く困っていた。

背景

- 総務省が発表した平成27年度「電波の医療機器等への影響に関する調査」報告書で、ハンディタイプのRFIDリーダーがICDに全く影響しないという結果を受けて、医療現場での積極的な活用を模索していた。

ソリューション

- AsReaderにより、バーコードの読み取り精度が格段に向上。
- RFID AsReaderとRF タグにより、バーコードのような1対1での照合から1対多での照合が可能になり、特に検体照合の時間が短縮。

効果

- 照合に関して、以前はエラーが多かったが今はスムーズに照合ができ、時間の短縮に加えてインシデントの減少を期待している。
- スマホ世代の若い看護師が多いのでスムーズに運用開始でき、褥瘡などの写真をカルテに連携させるといった、iOSの機能も有効活用できている。

医療法人社団 誠馨会 セコメディック病院

<http://www.secomedic.gr.jp/>



医療の安全と質の向上を掲げて、モバイルの可能性に期待!



医療法人徳洲会 岸和田徳洲会病院

<https://kishiwada.tokushukai.or.jp/>



AsReader®の導入で業務の簡素化と時間短縮に成功!



課題

- 従来のモバイル端末はスキャナーを有線ケーブルで繋いでいた。しかし、双方を繋ぐ変換ケーブルが頻繁に故障し、業務に支障が発生。コスト的にも問題になった。
- ナースステーションのスペース上、パソコンの台数が限定され、入力が集中する時間帯には順番待ち状態に。仕方なく事後入力することがあった。

ソリューション

- 電子カルテを中心とした従来の基幹システムとAsReaderを連携。
- パソコンを必要とせずAsReaderだけで点滴など処置の際の三点照合を簡単・確実に実施。

効果

- Lightning接続による一体化で、本体とバーコードリーダーケーブルの抜き差しがなくなり、接合部のトラブルが解消された。
- 従来のケーブル取り回しの煩雑さが解消されるなど作業全体が簡単になった為、ベッドサイドでのリアルタイムな三点照合の実施率が5%程度上昇した。

課題

- ノートパソコンを病室に持ち込んでオーダー確認や三点照合の後、処置をしていたが、バッテリーのもちが悪く、移動するたびにコンセントの抜き差しが必要だった。
- 病室のレイアウトや患者さんの向きによってはバーコードリーダーのケーブルが届かず、ベッドを動かして対応することも。

ソリューション

- 電子カルテを中心とした従来の基幹システムとAsReaderを連携。
- パソコンを必要とせずAsReaderだけで点滴など処置の際の三点照合を簡単・確実に実施。

効果

- ワゴンを押してパソコンを持っていくことがなくなったので、業務が簡素化され、結果的に時間短縮に繋がった。
- AsReaderで電子カルテを閲覧できるので、患者さんの病歴・投薬歴などがその場で確認でき、ナースステーションにカルテを確認に行くことがなくなった。

鳥取大学医学部附属病院

<http://www2.hosp.med.tottori-u.ac.jp/>

AsReader®と血糖値測定システムで、業務効率大幅UP!



課題

- ノートパソコンを補佐するモバイルツールとして、従来は高価なPDAを使っていたが、重くて使い勝手が悪いという事で、PDAが殆ど活用されなくなっていた。
- 電子カルテと連携する血糖値測定システムはiPod touchを使う前提であったが、iPod touch付属のカメラによる読み取りでは、リストバンドや測定器のバーコードを認識しない、読み取りが遅いなどの問題があった。

ソリューション

- AsReaderによりバーコード読み取り精度と読み取り速度が大きく向上。
- パソコンを必要とせずAsReaderだけで点滴など処置の際の三点照合を簡単・確実に実施。

効果

- 患者さん1人当たり、1日4回行う血糖値測定のデータをリアルタイムで電子カルテに反映させることができるようになった。
- 看護師が、状況に合わせてノートパソコン/AsReaderのどちらを持っていくか選べるので、効率的な運用が可能となった。

近畿大学病院 (旧近畿大学医学部附属病院)

<http://www.med.kindai.ac.jp/huzoku/index.html>



AsReader®なら薄暗い夜間の病室でもバーコードが読める!



課題

- 従来のPDAを使ったバーコード管理方法でも、バーコードが曲がっているなど条件によってはなかなか読めなかった。
- iPod touchのカメラを使った読み取りでは、情報量の多い(幅の長い)バーコードを認識出来なかったり、夜間の病室など薄暗かりの中では特に読み取りが難しかった。

ソリューション

- AsReaderを装着することで、読み取り精度が格段に向上し暗所にも対応。
- 電子カルテと連携して、AsReaderだけで三点認証や在薬管理、処方チェックをベッドサイドで完結。

効果

- 動線が短くなり、タイムロスも減り、(ナースステーションでの)転記作業が不要に。患者情報を直接カルテに入力できるので、作業効率が大幅UP。
- (スマホ世代の看護師が大半なので)導入に際し特別な研修も無く、トライアル無しで本運用をスタートしたが、特に問題もなく活用できている。